市政報告

総合体育館発注議案提出

第二百六十五回定例市議会が、九月十二日から二十九日までの日程で開会され、浜田市長は冒頭に、高知空港拡張事業・阿佐線建設事業・外国語指導助手事業などへの取り組みなど当面する市政の重要課題について所信を述べた後、その他の主要課題について報告。その中で一部三階建て、建築面積六千九百四十八・五九平方㍍（約七反歩）の市総合体育館工事請負契約の締結について議決を求めました。

いよいよ、市民待望の大型体育館の建設が具体的に動き始めました。

（以下は、市政報告のあらましです）

◪空港・阿佐線

空港拡張整備は、岡辺対策の財源・対象エリアなどの大枠を策定、方針案が示される段階です。地元要望を実現させるよう国・県に対し働きかけます。

阿佐線建設は、敷地の未買収用地取得について、日本鉄道建設公団と市土地開発公社との用地取得の委託契約を締結しました。

◪総務・企画

防災の日に、岡豊地区防災訓練を実施し、震度六（マグニチュード八）の地震発生を想定し、岡豊工業団地自治会などの約千七百人の協力で実施しました。

高齢者の交通安全は、昨年に引き続き高齢者交通安全モデルクラブを認定し、新たに西部千寿会に認定証を交付して、参加型・実践型の交通事故防止に取り組みます。

姉妹都市交流では、少年野球によるスポーツ交流を行い七十三人が、八月八日より二泊三日の日程で岩沼市を訪問、親交を深めました。

住民需要の多様化や地方分権による事務の増大が予想され、全庁的な電算システムを導入する計画で、市情報化推進委員会を発足、年度末までに情報化基本計画を策定、システムを自主導入したいと考えています。

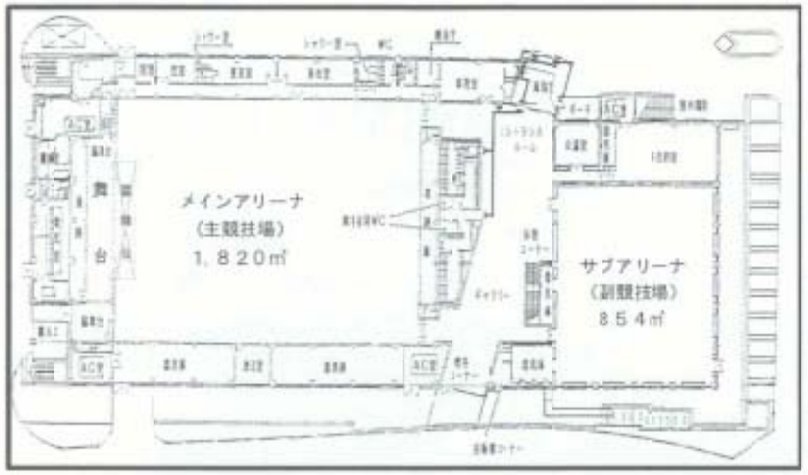
◪都市計画

都市計画道路は、用地補償交渉に取り組み、本年中には一部本工事に着手し、大堀区画整理事業に現地測量の作業中で本年度は基本計画を策定します。

小籠住宅建設に替えは造成工事中で、併行して建物本体の基礎工事が完了。吾岡山文化の森公園整備は、五十一㌶を完了、残事業の実施設計を委託、地元推進会および関係者の協力を得て推進します。

◪農　業

米の生産調整は、市全体として目標を達成できましたが、野菜は数量・金額とも前年度を下回りました。基幹作目の米・野菜は、依然として厳しい環境にあり、中山間振興対策など懸案事項の解決に取り組んでいます。



◀総合体育館　1階平面図

◪商工・民生

旭食品㈱の四国流通センター計画の第一期計画（平成十一年）は、冷凍基地を含む四国総合物流センターの整備。第二期計画は、県内の物流拠点の総合強化および本社の営業本部・情報本部の総合立地。第三期計画は、FAZ関連食品加工拠点の整備で、第三期計画完了後は、新規雇用約三百人が見込まれ、同社の立地と円滑な操業のため必要な条件整備に、県の協力や地元の理解を得、積極的に取り組みます。

一部民営化と統廃合および保育施設の充実を柱に「南国市保育行政計画」の推進を図り、地域や保護者の理解と協力を得るため、保護者会連合会や民営化可能八園・統廃合一園の各保護者会と、保育行政改革策定の経過および内容について話し合い、市立公民館長に対し保育所改革の説明会を持つなど、地域の代表者への説明会に取り組んでいます。長岡東部保育所の改築は、予定どおり着工、平成十年二月末の完成を目指します。

◪生活環境

環境月間の一斉清掃は、約六千五百人の参加を得て市内全域で実施しました。ごみは年々減少傾向にあります。才谷・龍馬公園での「第七回ほたる祭り」の開催、十市小学校の児童・野島の会および住民による石土池でのテグス・空き缶拾いと約千二百人の市民参加による海岸一斉清掃を実施しました。

◪教育・国体

総合体育館は、今議会に議案を提出し審議をお願いしています。鉄骨鉄筋コンクリート二階建て（一部三階）で、多目的グラウンドは、供用開始ができるよう夜間照明などの完備をします。

同和教育の推進は、啓発事業や講演会・学習会などで科学的認識に基づき、市民に総合理解を深めるよう取り組み、あらゆる差別意識の解消に取り組んできた同和教育の成果を基に、基本的人権尊重の教育として発展的に再構築し、推進することが重要で、同和問題の早期解決に努めます。

高齢者交通安全対策・条例化

高齢者にやさしい市政を目指す南国市は、全国にさきがけて高齢者のための交通安全対策推進事業や、地域でかかわりのある人たちに協力をお願いすることなど、高齢者の交通事故防止啓発推進目的の条例を制定しました。これにより高齢者交通安全対策推進協議会（会長・浜田市長）が発足することになります。

高齢者　元気です!!

１００歳以上のお年寄りを市長らが訪問

県内の１００歳以上のお年寄りは１５８人で、全国２位の長寿県。このうち、南国市には今年度で１００歳になる人を含め１９人います。９月５日、敬老の日を前に浜田市長や高島市社会福祉協議会長らが、市内のお年寄り８人を訪問、記念品を手渡し長寿をお祝いしました。一方、お年寄りらは、この日を心待ちにしており、終始なごやかに歓談。緑ケ丘の亀谷眞喜さんは、「長寿の秘訣は朝の散歩。そして、いつも心と身体をきれいにしておくことです」と元気に答えていました。

100歳バンザイ!!　いつまでもお元気で！

《平成九年七月一日現在》

氏名	性	住所	年齢
実岡　八重野	女	小籠	一〇四
竹村　梅治	女	三島	一〇四
田内　春恵	女	浜改田	一〇四
柳瀬　雪衛	女	久礼田	一〇三
野本　柳喜	男	後免町	一〇一
島崎　秀尾	女	大埔甲	一〇一
横畠　橋子	女	緑ヶ丘	一〇一
森　時美	女	大埔甲	一〇〇
川田　益治	女	後免町	一〇〇
橋田　信喜	男	緑原	一〇〇
森本　栄	男	岡豊町	一〇〇
杉本　小芳	女	亀岩	一〇〇
亀谷　眞喜	女	緑ヶ丘	一〇〇
山本　自吉	男	浜改田	一〇〇
北村　猪馬亀恵	女	上野田	一〇〇
小川　美幸	女	十市	九十九
北村　猪馬亀	女	十市	九十九
高島　房衛	女	福船	明見
山本　鹿良	女	国分	九十九

写真＝北村　猪馬亀さん（十市）

▲９月１３日、生きがいづくりや新たな出会い・交流を深めようと、高齢者ふれあいパーティーがグレース浜すしで開かれました。

これは、市内の６つの高齢者教室生を一堂に会しての初めての試み。約４５０人が参加してのパーティーは、岩村出身の元吉恵子さん（作陽音楽大学助教授）の歌声や各教室の自慢の芸や作品などが披露されました。

▼９月１５日、市内各地区で敬老会が催されました。このうち、１９０人のお年寄りが参加した十市地区では、今年度から婦人会（中島八重子会長）主催となりました。中島会長の「海の幸・山の幸に恵まれた十市地区で、百歳以上の高齢者がもっと増え、私たち後輩を引っ張ってください」というあいさつを皮切りに、祝宴が開かれ、歌や踊りの素晴らしい出し物が披露されました。

「ほがらかい音頭」を披露する十市地区婦人会